



藤野地区町内会連合会

会報

ルピナス

第92号

230

平成27年6月10日(水)

八代目会長の就任にあたり

藤野地区町内会連合会 会長 寺田 良男



三月十五日、理事会の席で役員選挙委員長を皆様から仰せつかったのが運の尽きか、この度の町内会連合会定期総会に於いて第五号議案の役員改選議案について委員長として経過報告をし採決された。この後第一回理事会でこの組織の八代目会長の大役をやれと選任され総会で互選結果について大高会長から皆様にご挨拶をいたしました。今、思うに、この大役を引き受けた馬鹿さ加減に唯々呆れ果てて放心状態にある愚者です。一期(二年)が役員

にもかくにも、今の私は副会長さんのお知恵に頼り付き、また執行役員の皆様のお力をお借りしながらまろづくりビジョンに掲げる「花とみどり、文化と福祉のまち藤野」まろづくりの基本理念として組織一丸となつて活動をしたい。老若男女、共に手を携えて互いに助け合い、労わり合つて「この地に住んで本当によかった」と言ってくれるまろづくりに、一歩一歩進めるよう勤めてまいりたいと存じます。

皆様のご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。また地域発展のためにも足が非でもご支援ご協力を切にお願ひ申し上げて就任にあつたのでの挨拶とさせていただきます。



退任のあいさつ

藤野地区町内会連合会 前会長 大高 喜代一



長らく会長として、皆様方にお世話になりました。ありがとうございます。思えば六年前理事会の推薦により会長と云う大任を受けるとなり、現在にいたっています。

六年前、会長と云う職を受け、その時から現在の毎日が唇ごにらめっこして毎日を過ごしていたと思ひます。毎日が追われているような日々で、その日が過ぎ行つたと思ひました。仕事は思つたより大変で多忙な日々を過ごしていたと思ひます。過去六年間会長としての任務を続ける事が大変になりました。ここまで任務を

続けてこられたことは皆様方のお力のお陰と思ひます。これからは藤野地区町内会連合会の益々の発展を心より祈りながら退任の挨拶といたします。

今後は一人の誇り高き藤野の住民として藤野の発展のためご厚誼のほどお願ひ申し上げます。皆様の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げ一會報「ルピナス」により退任の御挨拶といたします。



平成二十七年藤野地区定期総会 花とみどり・文化と福祉のまち藤野

平成二十七年五月六日(水) 十三時

平成二十七年年度の藤野地区町内会連合会の定期総会が五月六日(水) 13時より藤野地区センターアリーナで、各単町の代議員、町連役員が参加して行われた。

町連会長高喜代氏の挨拶のあと、藤野まちづくりセンター安立卓也所長から来賓挨拶があり、西藤野町内会の森水文彦氏を議長に選出し議案の審議に入った。

議案第一号

平成二十六年事業報告



概要、個別具体的内容、各部別個別実施状況報告について堀総務部長から報告がなされた。

議案第二号

平成二十六年収支決算報告

①藤野地区町内会連合会、一般会計報告(別掲)

②特別積立金、別途基金

③第二十四回藤野ふるさとまつり会計

④藤野太鼓保存会会計

⑤⑥⑦について小田会計部長より、⑧について船谷氏よりそれぞれ報告がされた。

平成二十六年監事監査報告

伊藤監事から監事監査報告がされた。

このあと、質疑応答がされ、議案第一号、第二号まで一括して全員の拍手で承認された。

議案第三号

平成二十七年事業計画(案)

議案第四号

平成二十七年収支予算(案)

①藤野地区町内会連合会、一般会計

②第二十五回藤野ふるさとまつり会計

③藤野太鼓保存会会計

④単位町内会助成金等明細

このあと、質疑応答があり、一部修正で原案どおり承認された。

議案第五号

役員の選任ならびに相談役の推薦について

寺田役員選考委員会委員から報告のあと、総会は一時的休憩に入った。

理事會を別室で開催、会長、副会長を互選、総会再開後、その報告があり、承認された。(別掲)新旧会長の挨拶のあと、議長退任、総会は終了した。

感謝状贈呈式

総会終了後、感謝状が南区长の高野壽林から贈呈された。

受賞者

○市長表彰

佐藤 昌信氏

(前宮上見町内会会長)

区長表彰

大平 昌好氏

(前藤野第二町内会副会長)

堀田 正和氏

(前藤野三区町内会会長)

星野 正昭氏

(前藤野本通町内会対後部長)

水口 勝治氏

(前高見台町内会文化部長)

元水 明美氏

(藤ヶ丘南町内会副会長)

平成二十七年 事業計画

重点目標

概要

前年度に引き続き「藤野地区まちづくりビジョン」に掲げる基本理念を根拠にして花とみどり・文化と福祉のまち藤野をまちづくり方針に掲げ、七項目の目標と課題に取り組み、組織一丸となって活動することにより「住んでよかった藤野」のまちづくりに邁進する。

定款別個別活動計画

総務部

藤野地区まちづくりビジョン

ジョンの具現化に向けた事業の推進と関係機関連携を図る。

一、情報委員会による「ふるさとコーナー」、会報「ルピナス」の充実により藤野地域の情報発信に努め、「インターネット」によるホームページに

あつては専門部はもとより各単町からの情報提供の協力を頼み内容の充実

に努める。

二、公立図書館の誘致については、藤野地域に図書

館づくりを進める会」と連携し、現図書室の拡充

強化の視点から推進する。

四、第二十五回藤野ふるさとまつりの企画、運営。

五、ふるさと藤野新年交礼会の企画、開催。

六、総会、役員会、四役会、専門部役員会等、各種会議の開催、連携。

七、地区内各種団体名簿の整備。

八、藤野地区社会福祉協議会等と連携し、社会福祉活動の充実強化。

- 九、定山溪沿線協議会と連携し、沿線地域課題への積極対応を行う。
- 十、「特別積立金」の定められた管理運用。
- 【会計部】
- 一、町連会計業務全般、会計監査への対応。
- 【広報部】
- 一、広報「ルピナス230」の発行
- 二、ふるさとまつりチラシ作成
- 【福祉部】
- 一、高齢者を励ます活動、敬老メッセージを作成贈呈
- 二、福祉部長・民生・児童委員合同情報交換会の開催
- 三、地区社協ほか関係諸団体との連携、協力、支援
- 四、「ふじの子育てサロン（フイスタ）」の開催支援
- 【地域安全部】
- 一、交通安全運動街頭啓発運動の実施
- 二、交通安全関係者会議の開催
- 三、単町地域安全担当者研修会の開催
- 四、少年消防クラブDFC「ふじの」活動への補助
- 五、南警察署生活安全課と調整しながら防犯パトロールの実施
- 六、AEDの使用講習会と消防署の救急サポーター事業への登録推進
- 【体育部】
- 一、豊栄山登山会（山開き登山、例年登山、納会登山）
- 二、少年少女ドッジボール大会の実施
- 三、パークゴルフ大会の実施
- 四、雪中運動会の実施
- 【青少年部】
- 一、青少年部長会議の開催
- 二、ふるさとふじの子ども会議の開催
- 三、鑑賞会の開催
- 四、新春書初め会の開催
- 【女性部】
- 一、女性部会、ガン検診の啓発
- 二、リーダー研修
- 三、交通安全運動推進・啓発
- 四、女性新生女流会の開催
- 五、講習・研修会
- 六、札幌市女性団体連絡協議会連携
- 七、南区女性連絡協議会
- 【文化部】
- 一、文化祭の開催
- 二、藤野の文化の普及と伝承
- 【環境部】
- 一、グリーンまっぼろ進捗協議役員研修会・役員会
- 二、フラワーガーデニング展
- 三、春の園芸講習会
- 四、花いっぱい運動



平成二十七年年度	
藤野地区町内会連合会役員	安田 英子 (藤野区)
相談役 田中 義一 (本通)	関根 誠 (十五島)
会長 寺川 良男 (藤野區)	佐々木 輝郎 (二区)
副会長 石村 勇雄 (十五島)	大熊 成子 (十五島)
仙北 英治 (本通)	八重崎 泰則 (藤野区)
古田 健治 (野々次)	宮甲 紀彦 (十五島)
星野 数大 (藤野區)	真保 和子 (野々次)
監事 伊藤 邦憲 (高台)	大越 龍幸 (野々次)
山形 博 (富士見)	河野 秋子 (藤野區)
理事 菅野 暁子 (第一)	女性部 伊藤 洋子 (十五島)
大高 昌代 (第二)	斎道 弘子 (野々次)
船越 盛正 (三区)	弘津 真理子 (野々次)
飯森 禮子 (富士見)	伊東 慶子 (野々次)
高田 英敏 (緑町)	文化部 理事兼務
出中 一男 (中央)	伊東 慶子 (野々次)
岩崎 前輝 (高台)	環境部 古川 和夫 (第二)
是安 恒夫 (富士見)	八幡 忠幸 (三区)
長谷部 芳 (白樺)	山口 誠一 (富士見)
小田 勝義 (藤野區)	
佐藤 順一 (白川)	
佐藤 悦子 (野々次)	
船橋 廣光 (藤野區)	
中西 敬一郎 (東藤野)	
総務部 堀 正勝 (西藤野)	
上田 三保子 (富士見)	
会計部 理事兼務	
森永 和雄 (高台)	
広報部 平岡 古春 (本通)	
福祉部 理事兼務	

第25回 藤野ふるさとまつり

期 日 平成27年8月1日(土)
10時～17時
雨天の都合 8月2日(日)

会 場 トライアル新車庫
(山田藤野2米4丁目-1)

平成26年度 藤野地区町内会連合会一般会計決算書
 期間 26.4.1～27.3.31

収入の部

(単位:円)

科 目	26年度予算額	26年度決算額	増 減	備 考
繰越金	941,522	941,522	0	
町建会費	1,676,750	1,676,750	0	6,707世帯×250円(24世帯増)
市からの助成金	2,970,610	2,990,362	20,252	
地域復興 町建	760,700	760,700	0	算定基準による世帯割100円、均等割5万円(住民組織助成金)
地域復興 町町	1,309,910	1,309,910	0	5,707世帯×150円+奉還割額(住民組織助成金)
地域ふれあい事業等	840,000	860,252	20,252	南区地域ふれあい事業助成金、ふるさとまつり30万円等
防災活動支援事業	60,000	60,000	0	併修会助成(3町内会)
募金交付金	120,000	125,268	△ 4,732	日本募金交付金、共同募金交付金
雑収入	700,000	686,082	△ 13,918	広告料17.5万円、会費33.6万円、日赤4万円、積立利息、コピー11万円
その他	600,000	600,000	0	社協使用料48万円、事務互世上補助18万円
合 計	7,078,882	7,080,484	1,602	

支出の部

科 目	26年度予算額	26年度決算額	増 減	備 考
諸経費	2,950,000	2,919,779	△ 30,221	
事務費	1,180,000	1,190,900	13,600	事務用 文房消耗品(文房消耗品コピー用紙等)、人件費48万円、通信費、印刷費、租
交通費	50,000	50,000	0	各種行事参加交通費
総会・新年会費	410,000	435,983	25,983	総会、懇親会11万円、新年交社会31万円、開運諸経費
会議費	150,000	91,278	△ 58,722	理事会、役員会、幹事会、その他諸会議、会場費
庶務費	30,000	0	△ 30,000	
渉外費	160,000	160,000	0	会長の各種行事参加活動費
団体負担金	190,000	195,666	5,666	防火、防犯4.6万円、クレーンさぼろ1.8万円、消防協議会5.7万円、成人式3万円他
その他経費	780,000	793,262	13,262	上記に該当しない経費、印刷料72.4万円、担保2万円他
事業費	2,005,000	2,015,476	10,476	
総務部費	70,000	97,849	27,849	総務諸経費(情報委員会含)
広報部費	555,000	535,042	△ 19,958	ルピナス発行3回、編集・取材費等53万円
体育部費	220,000	234,367	△ 14,333	スポーツレクリエーション(ドッジボール5.6万円、常中運動会7.2万円、登山会等)
青少年部費	210,000	197,917	△ 12,083	ふるさとふじの子が会議2.5万円、鑑賞会11.3万円、書初め会2.3万円、その他
女性部費	185,000	185,010	10	地区行事13万円、交通安全母の会2万円他
福祉部費	70,000	68,880	△ 1,120	社協との協力、支援6.1万円等
地域安全部費	115,000	73,542	△ 41,458	地域安全活動(交通安全、防災、防災、青色回廊式16万円)
文化部費	100,000	96,193	△ 3,807	地域文化振興方針、写真展等
環境部費	120,000	102,266	△ 17,734	環境清掃、クレーンさぼろ、花いっぱい運動(花の美化研修・オーガニング)5万円
ふるさとまつり事業費	370,000	460,000	90,000	事業費の負担増に伴う助成金
地域復興 町町 助成金	1,309,910	1,309,910	0	住民組織助成金
募金交付金	110,000	93,573	△ 16,427	日赤・共同募金活動交付金(町町への配分)
防災活動支援事業助成	60,000	60,000	0	併修会助成(3町内会)
小 計	6,434,910	6,398,738	△ 36,172	
予備費	0	0	0	
繰越金(前金・現金)	643,972	681,746	37,774	
合 計	7,078,882	7,080,484	1,602	

平成27年度 藤野地区町内会連合会一般会計予算書
期間 27.4.1～28.3.31

収入の部

(単位:円)

科 目	26年度決算額	27年度予算額	増 減	概 要
親睦会	941,522	681,746	△ 259,776	
町連会費	1,676,750	1,676,500	△ 250	6,706世帯×250円(1世帯減)
市等からの助成金	2,990,862	2,890,380	△ 492	
地域振興 町連	760,700	760,600	△ 100	算定基準(ふるさと基金)100円/均等割)万円(住民組織助成金)
地域振興 町町	1,309,910	1,309,780	△ 130	6,706世帯×130円(標準割割)(住民組織助成金)
地域ふれあいの事業等	860,252	860,000	△ 252	南区地域ふれあいの事業助成金、ふるさとまつり930万円
防災活動支援事業	60,000	60,000	0	研修会助成金(町内会)
基金交付金	125,268	130,000	4,732	日赤基金交付金、共同基金交付金
雑収入	686,082	700,000	13,918	広告料17万円、会費31万円、日赤4万円、預金利息1万円、コピー等17万円
その他収入	660,000	660,000	0	社協使用料46万円、事務所借上補助18万円
合 計	7,080,484	6,838,625	△ 241,858	

支出の部

科 目	26年度決算額	27年度予算額	増 減	概 要
諸経費	2,919,779	3,040,000	120,221	
事務費	1,193,600	1,180,000	△ 13,600	事務用品(文具消耗品・コピー用紙・雑費)、人件費49万円、通信費、印刷費、他
交遊費	50,000	50,000	0	各種行事参加交遊費
総合・新年会費	435,983	410,000	△ 25,983	総合、懇親会11万円、新年交代会30万円、開通経費
会議費	91,278	100,000	8,722	理事会、役員会、部長会、その他諸会議、会場費
郵便費	0	30,000	30,000	郵便請求費用
旅外費	160,000	160,000	0	会長の各種行事参加活動費
団体負担金	195,558	190,000	△ 5,558	防火2万円、防犯2.6万円、クリーンさっぱり衛生1.9万円、治癒協議会6.6万円
その他経費	793,262	920,000	126,738	上記に該当しない経費、借付料72.8万円、損保2万円、冷房庫14万円
事業費	2,015,478	2,136,000	89,524	
総務部費	97,849	70,000	△ 27,849	総務経費(情報委員会)
広報部費	535,942	555,000	19,058	ルピナス発行3回、編集・取材費等56.5万円
体育部費	194,367	210,000	15,633	スポーツ・レクリエーション活動(アッチボール、青少年運動会、PG、登山会等)
青少年部費	197,917	210,000	12,083	ふるさとふじの子ども会2万円、鑑賞会11万円、書初め会2万円、他
女性部費	165,010	169,000	3,990	地区行事、交通安全推進、交通安全母の会
福祉部費	69,890	70,000	110	社協上の協力、支援等
地域安全部費	73,942	120,000	46,058	地域安全活動(交通安全、防犯、防災、青色回転灯)、少年消防クラブ2万円
文化部費	99,136	100,000	864	地域文化展、写真展・芸術文化の伝承等 開通経費
環境部費	102,296	120,000	17,704	環境清掃、クリーンさっぱり、花いっぱい運動(花の美化研修・ガーデニング)
ふるさとまつり事業費	460,000	460,000	0	事業費の負担増に伴う助成金(日赤4万円)
地域振興 町町助成金	1,309,910	1,309,780	△ 130	住民組織助成金
基金交付金	93,573	110,000	16,427	日赤・共同基金活動交付金(町内への配分)
防災活動支援事業助成	60,000	60,000	0	研修会助成金(町内会)
小 計	6,388,738	6,623,780	235,042	
予備費	0	214,845	214,845	
親睦会(預金・現金)	681,746	0	△ 681,746	
合 計	7,080,484	6,838,625	△ 241,858	

町内会紹介

「住んでよかった十五島」を合い言葉に

十五島町内会 会長 石村 勇雄



十五島町内は結成時六十九世帯からはじまり、四十二年間を経過して現在六百

世帯余に達しています。当時は環境整備も行き届かず日常生活にも不便な面が幾多とあった事でしよう。

歴代会長をはじめ役員のもとで町内会員が一体となって、地域の道路整備、下水道完備、街灯設置管理、



藤野まちづくりセンター所長 安立卓也

初めまして
今年の四月一日付の人事異動により、藤野まちづくりセンターに着任いたしました。

私にとって藤野の思い出は、小学生時代の十五島公園での炊事遠足、藤の沢スキー場でのスキー遠足、そして果樹園です。みどり豊かな自然に包まれた藤野地区は、その清々しさに心なごむ居心地がいたします。

昔別で生まれた私には、山とみどりは原風景ともいえるものです。

藤野地区町連は、花、みどり、文化、福祉をキーワードとして、最終目的を「藤野に住んでよかった」と思えるまちづくりをしようというビジョンを掲げています。私も少しでもそのお手伝いをしたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

除排雪体制等の行政機関への要請、折衝を積み重ねて今日に至っております。

住みよいまちづくり十五島町内会を口指し更なる前進を求め継承していきたいという気持ちで努力していきます。

これからの町内会運営は高齢者の功納を譲えつつ、高齢者等の福祉対策と次代を継ぐ青少年・幼児の育成が重要課題として取り組んでいます。

全町内を四区分の下に二

十五班に編成して、各区長と各班長が会費等の集金、会費回覧物の配付、各事業の参加の取りまとめをし、町内会の原動力となつていきます。

町内会の意とするところは、家族は勿論のこと人と人の絆を大切に「向こう二軒隣隣り仲良く助け合い、励まし合って、語り合う町内会であり「住んでよかった十五島」を合い言葉に各イベントにも多数の参加を頂き親交を深めています。

交通安全運動街頭啓発

交通安全を願って

四月六日(月)藤野地区の小学校(藤野小、藤野南小、藤の沢小)で入学式が行われた。藤野町連女性部で組織された藤野地区交通安全父母の会が、この新一年生に「交通安全に気をつけて」と呼びかけ、交通安全の啓発活動を行った。同会では、今後も国道二二〇号線や学校の近くの道路で、交通安全の啓発活動を続ける。

五月十一日(月)、藤野町連地域安全部では、春の全国交通安全運動の一環として、国道二二〇号線まちづくりセンター周辺で交通安全運動街頭啓発を実施した。

この活動は、地域の交通安全を願って、年四回計画されており、昨年度(平成十六年度)は町連役員、交通安全推進委員、交通安全父母の会会員のべ六〇〇人がこの事業に参加した。

編集後記

五月の台風発生は珍しくその年は冷夏が多いという予報である。毎年のように災害に襲われる我が国であるが、異変の予測は難しいのであろうか。

藤野地区の町内会連合会も設立四十一年目を迎えた。会報「ルピナス230」もこのままいくと三年後には節目の百号を迎える。地域の歩みの持つ重味を感じる数字ではあるまいか。

戦後七十年の今年、この国の在り方を巡る論議がマスコミを賑わしている。平和国家の歩みは守らなければならぬのに、国民的議論が少いように思えてならない。

(II)

ルピナス第五号
・平成二十七年六月十日発行
・発行人 寺田 良男
・編集人 森田 和雄
・編集人 森田 和雄
・印刷所 札幌印刷製版
・連絡先 五九一四一七八(森田)

